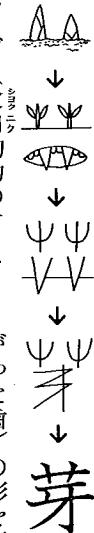


芽

四年
画数 8
筆順 オンガ
部首 竹
意味 芽

成り立ち



“きば”（食肉動物のするどくとがつた歯）の形を表し、
“きば”の意味を表した“牙”と、“艸”とを組み合わせ
て作った字です。

芽は生まれ出たばかりのすがたを表したものですから
「物事の始まり」の意味にも使われます。例：萌芽（芽生
え）。

改

四年
画数 7
筆順 コ己ニ改
部首 オン
意味 あらたIIまるIIめる

成り立ち



糸まきから糸をとり出した形を表し、“自己”（自分のこ
と）の意味を表した“己”（年 876）と、手にむちをもつ
た形を表し、“攻める”意味を表した“攴”とを組み合わ
せて作った字です。

あやまちをおかした人が、「自己」をせめ」で、あやまち
を“あらためる”ことを表したものです。“あらためる”
こと、“なおす”こと、“変える”ことです。

「己」は、“紀”的本字であり、音はキである。キの音は
英語でもそうだが、カイとも発音される。己は己ではキ
だが、Kitteではカイと発音する。鬼も“塊”ではカイと
発音するし、貴も“漬”ではやはりカイである。」

△春が来て、木の芽がふくと、灰色だった世界が若々し
い緑に変わります。わたしは、早春の、緑の新芽が大
好きです。

△理科の実験で、トウモロコシの発芽のようすを観察し
ました。トウモロコシの種から芽が出るようすは、魔
法のようで、とても、おもしろいながめでした。

△発芽（芽が出ること）

△萌芽（芽がもえ出すこと。めばえ。また、そこから、
ものごとのはじまり。さざし。「新しい文化の萌芽」など
というふうに、つかいます。）

△新芽（新しく出た芽のこと。）

熟語例

△日ごろの行いを改めて、もつとしつかりした生活をし
ないと、いけないよ。

使い方

△家が古くなつたので、改築しました。

熟語例

△改築（建物を新しく建てかえること。「図書館の改築工
事は、遅々として進まなかつた」などというふうに、
つかいます。）

△改心（心を改めること。「泥坊は、つかまつてからは改
心して、はじめて仕事に精を出すようになりました」などとい
うふうに、つかいます。）

△改正（改めて、正しくなおすこと。「交通規則が改正さ
れた」などというふうに、つかいます。）

△改革（改めなおすこと。「久しく、政治の改革が呼ばれ
ている」などというふうに、つかいます。）

△朝令暮改（朝に出了命令が、夕方になると改められる
こと。法令がすぐに変わつて、あてにならないことを
言います。）